



座談会

# 看護連盟青年部 「これまで」と「これから」



石田まさひろ議員と  
語ろう

〈特集〉

「Z世代」を理解し共感するために  
キーワードは「合理性」

〈青年部リレートーク〉

祭りだ! 政だ! 看護祭りだ!〈神奈川県〉

私はナースの予備自衛官〈鹿児島県〉

# 看護師国際サミット

## 世界中で活躍する看護師に出会える

### 夢のようなイベント

国境なき医師団に所属し、世界各国に派遣経験を持つ佐藤太一郎さん(Nurse Terminal 代表)と、アメリカハワイ州で訪問看護師として勤務する研谷美月さん(BeLight 代表)が発起人となり、世界各国で働く看護師や

将来海外での勤務を目指す看護学生・看護師との交流を深めるイベント「看護師国際サミット」が2023年11月12日に開催。会場には132人、オンラインに103人が参加しました。

#### ●プログラム①「国際キャリアパス」

海外を選択した国際看護師のリアル、海外で看護師として働く人のリアル



研谷美月さんと佐藤太一郎さん



国際看護師4人によるオンライン報告会



国際看護師を体感できる展示会  
～語学の軌跡コーナー～

に迫るトークイベントとして、アメリカ(ハワイ州)、オーストラリア、タイ、ベトナム、ベナン・ザンビアを拠点に活躍している国際看護師4人がオンラインで登壇しました。

渡航する国によって看護師免許取得までの道のりは異なるものの、日本の臨床経験が海外で働くためのベースになっていることは共通しており、いつ訪れるかわからないチャンスに備えて日々努力し続けることが大切だと話しました。

#### ●国際看護師を体感できる展示会

海外で働く看護師から話を聞くだけ

でなく「国際看護師を体感できる展示会」も設けられ、参加者が自身のキャリアを具体的に考えられることもイベントの特徴です。

8個のコンテンツが展開された「語学の軌跡コーナー」は、アメリカの看護師免許取得に向けて使い込まれた英語帳や教科書、英語で書かれたノートなどが展示されました。POPにはこれから海外留学を目指す看護師・学生の方たちに勉強のアドバイスが書かれており、多くの人が足を止め、手に取っていました。

#### ●人道援助トークセッション

国境なき医師団でこれまで8年間に18回の紛争地等への派遣を経験し、現在は日本事務局で海外派遣医療スタッフの採用担当に従事する白川優子さんが、現在、国境なき医師団で活動する佐藤太一郎さんと共にトークセッションを行いました。白川さんからは、派遣期間中の忘れられない経験や、紛争地等への派遣活動から離れ、採用担当として関わる理由など、人道支援看護に関心を持つ人が気になるテーマについて語られました。

白川さんは「人道支援は現地での活動がフォーカスされるが、寄付する人の思いや笑顔で送り出してくれる職場や家族のサポートがあつてできることだ」と述べ、参加者に支援を呼びかけました。

#### ●プログラム②「国際看護教育」

自身と向き合う「リフレクション」を体験してみよう

近年、国際看護教育のトレンドとして注目を集める「リフレクション」を体験するプログラムも開催され、コロナ禍で総合病院で院内教育に携わる内藤美欧さんが講師を務めました。

リフレクションは「自分自身を振り返って見つめなおして気づきを得る」と定義され、「問いをたてる→振り返る→対話する→考える」という4つのプロセスがあり、経験から振り返ることで学びを得て、次の経験に活かしていくことが重要だと説明しました。また、リフレクションシートを使い、参加者が自分自身と対話する体験ワーク「パーソナルバリュー(自身の核となるもの、価値観)を知る」では、就職や海外留学などキャリアの節目で自分のバリューを確認し、それを道しるべとして自身のキャリアを築いていくことが必要では、と問いかけました。

内藤さんは「自分の中で振り返ることは明日の自分をよりよくすることにつながる。毎日でも気になったことを書き留めると気づき生まれる。明日から何かやりたいと思った時こそ振り返って前に進んでいってほしい」と参加者に呼びかけました。

(取材：高山真由子)